

「飯能市高等学校等通学費補助制度」に関する調査結果について

【 目 的 】

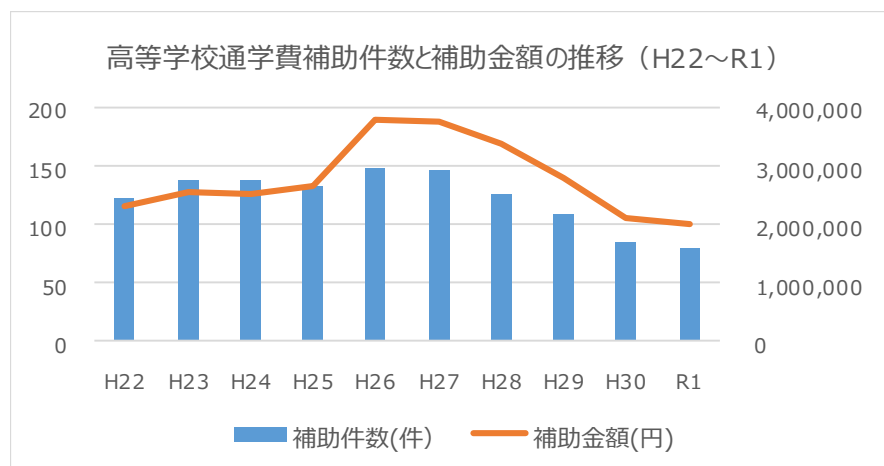
市では、高校生の通学手段として公共交通の利用促進を図るとともに、通学費に係る保護者負担の軽減を図ることを目的として、平成 22 年度から高等学校等通学費補助金を交付している。

補助金の申請件数については、平成 26 年度をピークに毎年 2 割程度減少しており、補助金額の支出も平成 27 年度と令和元年度を比較すると約 180 万円の減少（△約 47%）となっている。

本補助制度の現状や課題を把握するとともに、目的を達成するために必要な解決策を見出すため対象者に対するアンケート調査を実施した。

【 補助件数等の推移 】

※平成 26 年 4 月に実施された消費税の増税と併せて、補助金額を増加した。



【 アンケート結果 】

1 実施期間 令和元年 12 月 3 日 ～約 1 ヵ月

2 回収状況

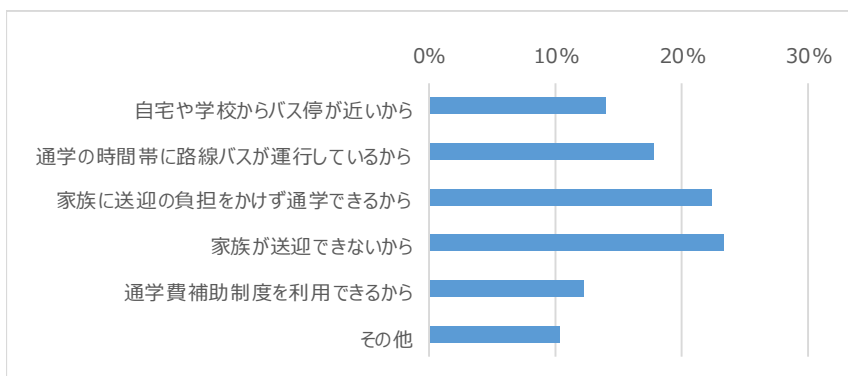
配布数	回収数	回収率
171	80	47%

3 補助金の交付有無

	回答数	割合
通学費補助金（路線バス定期代の助成）の交付を受けている	42	53%
通学費補助金（路線バス定期代の助成）の交付を受けていない	38	48%

4 交付を受けている

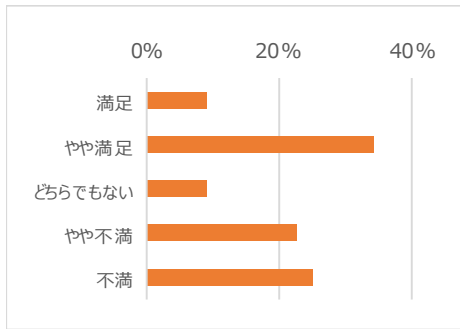
(1) 路線バスで通学している理由



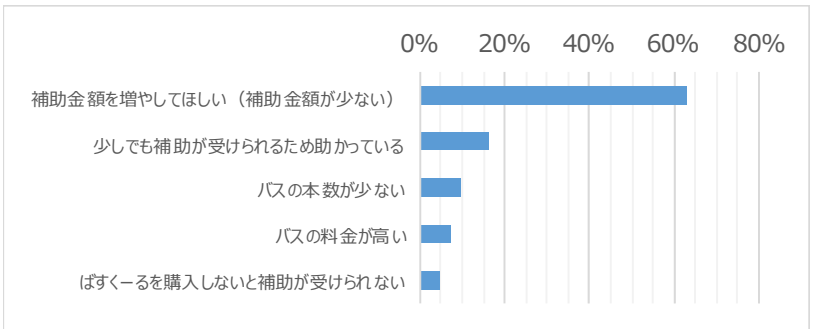
《その他》

- ・通学手段がバスしかない
- ・バスを使わないと遠すぎる
- ・自転車に通学する根性がない
- ・電車が通っていないから
- ・自転車通学が困難なため
- ・自転車では危険、車道が危ない
- ・女子は夜道が危ない

(2) 補助金制度の満足度

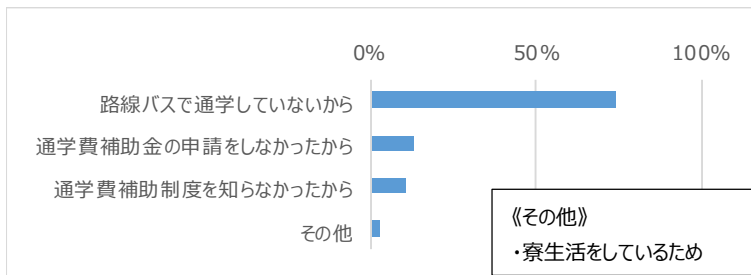


(3) (2)の満足度を選んだ理由

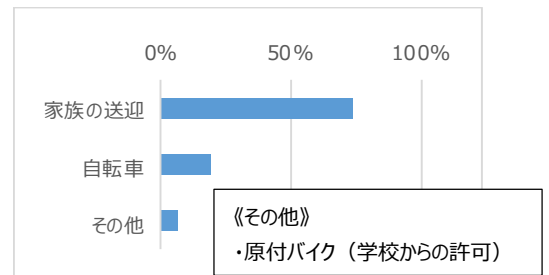


5 交付を受けていない

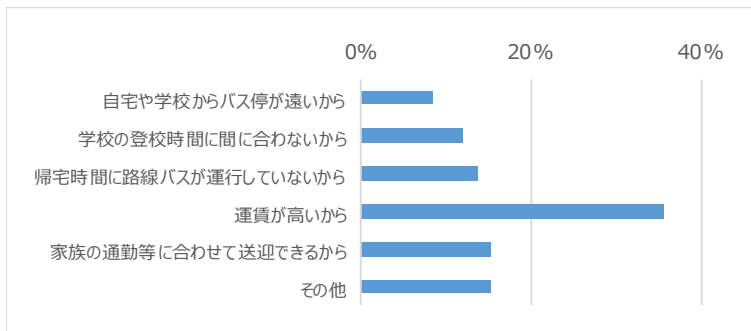
(1) 交付を受けていない理由



(2) (1)で「路線バスで通学していないから」を選んだ人の通学手段

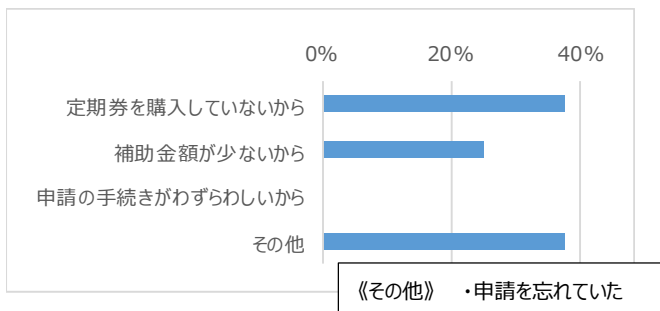


(3) (1)で「路線バスで通学していないから」を選んだ人の路線バスで通学しない理由



- 《その他》
- ・バスの本数が少ない
 - ・利用したい時間にバスがない
 - ・体力づくり、運動のため(自転車)
 - ・バス運賃が高い
 - ・補助金額が少ないから
 - ・バス停までの道が暗く、人通りが少なく怖いから

(4) (1)で路線バスで通学しているが「通学費補助金を申請しなかったから」を選んだ人の理由



(5) 定期券を購入していない理由

- ・自転車とバスの利用が半分ずつなので
- ・週に1日しかバスに乗らないため
- ・補助金が交付されても10万円を支払わなければならないのであれば無理をしてでも親の送迎を選ぶ
- ・12月からバスの定期を購入、学校の部活など、行き帰りが日によって異なるためバスを利用することが増えた。年間の定期券は購入していない

【課題整理】

- 1 通学定期購入者の減少に伴う日常的な路線バス利用者数の減少
- 2 補助金増額の要望あり(補助金を交付してもなお保護者の負担が大きい状況)
- 3 補助金についての周知と理解

【解決策の検討】

今後、教育委員会及び交通政策室において問題解決に向け検討を行う。